

これからの医療と介護

「治す」医療

- 遺伝子治療
- 再生医療
- 鏡視下手術
- ロボット手術
- 遠隔医療
- 臓器移植



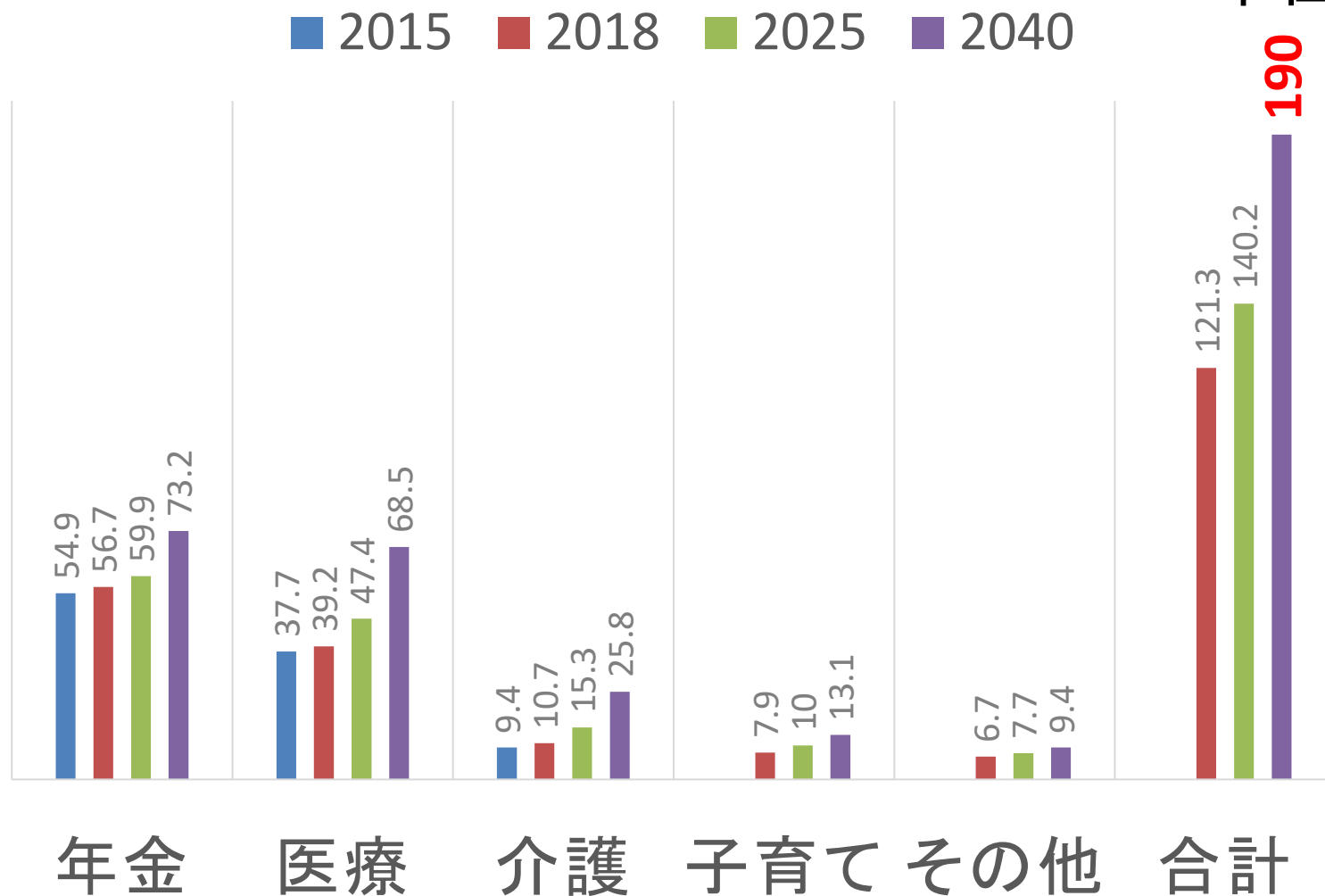
「治し、支える」 医療

- ACP(人生会議)
- 健康寿命
- 人生百年時代
- 生き方、逝き方

- **生活を支える医療**
- **入院で何を期待するか**
- **命の終わりを受け止める覚悟**

2040年度を見据えた社会保障の将来見通し

単位：兆円

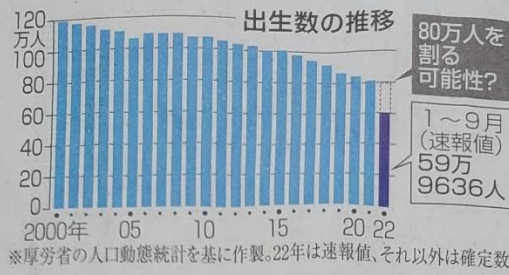


出典：「2040年を見据えた社会保障の将来見通し」(2018年5月)、社会保障人口問題研究所「社会保障費用統計2015年」

令和 4年12月 8日

社会保障維持に迫る危機

政府の全世代型社会保障構築案が7日示した報告書案は、子育て支援や高齢者負担増を明記した。人口減少と高齢化が進めば社会保障制度が破綻するという危機感からだ。少子化は想定を上回るペースで加速しており、今年の出生数は統計開始以来最少となる可能性がある。政府は出



想定超える出生減

産育児一時金を大幅に増額する方針。一方、素案は子育て支援のための新給付創設、児童手当拡充に言及したが、肝心の恒久財源の議論は停滞している。【関連記事25面】

恒久財源議論は停滞

国立社会保障・人口問題研究所が2017年に公表した将来推計は、出生数が80万人を割るのは30年と見込んでいた。ところが厚生労働省の人口動態統計の速報(外国人などを含む)によると、今年1~9月の出生数は59万9636人で、21年同期比で約3万1千人減った。21年の年間出生

財源は限られている!

数(約2千2百人)は、外国人などを除くと、今年も約80万人を割る見込みだ。制度が半減する半面、年々社会保障の支出される社会保険の用は増える。32兆2千億円に達する。ただ、報告書素案は恒久財

2024年は社会保障制度の岐路

- 診療報酬改定
（2年に1度改定）
- 介護報酬改定
（3年に1度改定）
- 第8次医療計画、第4期医療費適正化計画
（6年に1度改定）
- 年金の財政検証
（5年おきに実施）

市民健康公開講座

□ **令和 5年 2月日(金) 14:00~**

演題:『江刺病院の現況とこれからの医療と介護の在り方—医療・介護現場からの警鐘、人口減少社会に向けて—』

江刺病院 院長 川村 秀司

□ **令和 5年 6月16日(金) 14:00~ 第1回**

演題:『心不全を予防しよう』

胆沢病院 副院長 八木 卓也 先生

□ **令和 5年11月24日(金) 14:00~ 第2回**

演題:『未定』

□ **令和 6年 2月 9日(金) 14:00~ 第3回**

演題:『人生100年時代をどう生き抜くか~ 医療・介護現場からの警鐘、人口減少社会に向けて~』

江刺病院 院長 川村 秀司

ご静聴ありがとうございました

